

第117期

第2四半期

KIZUNA通信

2022年1月1日 ▶ 2022年6月30日

NITTOSEIKO

日東精工株式会社



株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、第117期第2四半期連結累計期間（2022年1月1日から2022年6月30日まで）における概要をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、ロシアのウクライナに対する軍事侵攻の長期化に伴う資源価格および物価の上昇、中国におけるゼロコロナ政策に伴う物流の混乱などにより、減速懸念

が高まりました。わが国においても、資源価格の上昇、日米金利差拡大を受けた円安による物価の上昇など、その影響の大きさは不透明な状況となっております。

このような経営環境において、当社は、中期経営計画「NITTOSEIKO Mission “G”（2019年～2022年）」の最終年度の成長戦略として、自動車業界や建築業界を中心に幅広く安定した顧客基盤を有する企業を子会社化し、事業領域の拡充を図りました。一方、メディカル事業においては、探索研究から非臨床試験、臨床試験までシームレスなサポートで、農・医薬品、医療機器の開発支援を行う企業との間で業務提携を行い、医療分野における新たな価値の創造に努めました。また、省エネ対策のほか、従業員の健康と福祉の向上を目指した健康経営など、「持続可能な開発目標（SDGs）」にも積極的に取り組みました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は208億9千万円（前年同期比3.1%増）、営業利益は12億2千1百万円（前年同期比35.1%減）、経常利益は14億5千9百万円（前年同期比27.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億3千3百万円（前年同期比32.4%減）となりました。

最終年度となる中期経営計画「NITTOSEIKO Mission “G”」では、グループスローガン「Taking new steps forward together ～ともに新しい一歩を～」を掲げ、当社と関わるすべての方の幸せを願い、一緒に成長発展を遂げていくための「絆経営」に取り組んでおります。企業の持続的成長に欠かせない「絆」を大切に、次期中期経営計画につなげていく所存でございます。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも倍旧のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

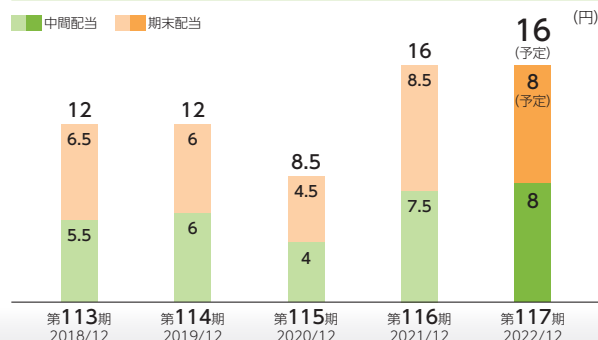
代表取締役社長 材木正己

株主のみなさまへの利益還元について

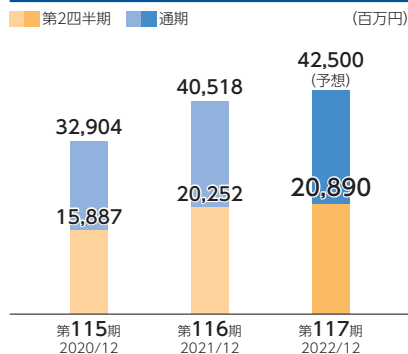
当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営の最重要政策のひとつと位置づけ、企業体質の強化および将来の事業展開に備えるための内部留保に努めつつ、業績に見合った安定的かつ適正な配当の継続を利益配分の基本としております。

中間の配当金につきましては、当期の業績を鑑み、1株当たり8円とさせていただきます。なお、年間の配当金につきましては、1株当たり16円を予定しております。

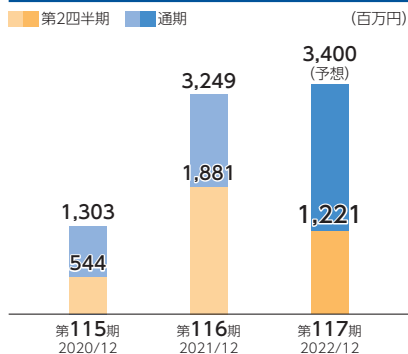
1株当たり配当金の推移



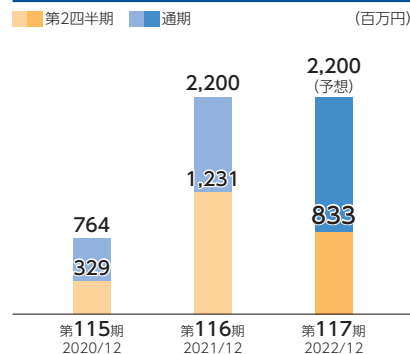
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



セグメント概況

ファスナー事業

自動車関連業界を中心に需要は高いものの、世界的な半導体不足の長期化により市場は減速しました。一方、2022年4月1日にケーエム精工株式会社および株式会社ピニングを子会社化したことで、売上高は増加しました。

売上高

↑ **15,226** 百万円
前年同期比 **8.9% UP**

産機事業

自動車関連業界のCASEに関わる設備や新車種・増産対応の設備、住宅・建築業界の省人化対応の設備を中心に需要は高いものの、世界的な半導体不足の長期化に伴う需要先工場の一部稼働停止により設備投資が抑制されるなど、厳しい状況となりました。

売上高

↓ **3,070** 百万円
前年同期比 **16.8% DOWN**

売上高

↑ **2,588** 百万円
前年同期比 **1.4% UP**

制御事業

流量計は、主な需要先である造船業界の需要回復、社会全体のデジタル化を背景としたクラウドサービスの付帯設備の需要が増加しました。システム製品は、省人化対応としての検査装置の需要が増加しました。地盤調査機「ジオカルテ」は、安定した住宅需要と買い替え需要により堅調に推移しました。

売上高

↓ **4** 百万円
前年同期比 **80.5% DOWN**

メディカル事業

断続的な新型コロナウイルスの感染拡大に伴う医療資源の不足と医療機関への訪問自粛、エネルギー関連経費の上昇による更なる医療機関の経営状況の悪化など、厳しい状況となりました。

第2四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前期末 (2021年12月31日現在)	当第2四半期末 (2022年6月30日現在)
資産の部		
流動資産	32,646	33,368
固定資産	18,277	19,486
有形固定資産	13,092	14,212
無形固定資産	1,281	1,194
投資その他の資産	3,904	4,078
1 資産合計	50,924	52,854

POINT
1

受取手形及び売掛金や仕掛品の増加などにより19億3千万円増加しました。

科 目	前期末 (2021年12月31日現在)	当第2四半期末 (2022年6月30日現在)
負債の部		
流動負債	13,675	14,303
固定負債	4,546	4,461
負債合計	18,221	18,765
純資産の部		
株主資本	29,261	29,787
その他の包括利益累計額	△ 10	530
非支配株主持分	3,450	3,771
2 純資産合計	32,702	34,089
負債純資産合計	50,924	52,854

POINT
2

為替換算調整勘定や親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等に伴う利益剰余金の増加などにより13億8千7百万円増加しました。

第2四半期(累計)連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 (2021年 1月 1日から 2021年 6月30日まで)	当第2四半期 (2022年 1月 1日から 2022年 6月30日まで)
売上高	20,252	20,890
売上原価	14,977	15,936
売上総利益	5,275	4,953
販売費及び一般管理費	3,393	3,732
営業利益	1,881	1,221
営業外収益	208	346
営業外費用	79	107
経常利益	2,010	1,459
特別利益	125	8
特別損失	3	18
税金等調整前四半期純利益	2,131	1,449
法人税等	674	469
四半期純利益	1,457	979
非支配株主に帰属する四半期純利益	225	146
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,231	833

POINT
3

税金等調整前四半期純利益の計上、減価償却費や未払費用の増加などの収入項目が、棚卸資産の増加、仕入債務の減少、法人税等の支払額などの支出項目を上回り、3億円の収入となりました。

第2四半期(累計)連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 (2021年 1月 1日から 2021年 6月30日まで)	当第2四半期 (2022年 1月 1日から 2022年 6月30日まで)
3 営業活動による キャッシュ・フロー	1,893	300
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 337	△ 1,517
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 164	△ 661
現金及び現金同等物に 係る換算差額	117	219
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	1,508	△ 1,659
現金及び現金同等物の 期首残高	8,299	10,435
現金及び現金同等物の 四半期末残高	9,808	8,776

01 ケーエム精工株式会社を子会社化

ケーエム精工株式会社は、ボルト・ナット、冷間圧造パーツ、各種ファスナーの設計、製造、販売を手掛けており、自動車業界や建築業界に幅広く安定した顧客基盤を有しております。当社のファスナー事業と同じ領域でありながら、当社とは異なるナットやねじ製品を強みとしており、互いの販路活用や製造の協働を通じて事業のシナジー効果を発揮してまいります。



02 株式会社トランスジェニックとの業務提携

株式会社トランスジェニックは、グループの創薬支援プラットフォームを通じて探索研究から非臨床試験、臨床試験までシームレスなサポートで農・医薬品、医療機器の開発支援を手掛けております。当社メディカル事業との連携強化を図り、医療分野において、両社の強みを活かした新たな価値の創造に努めてまいります。



03 HANNOVER MESSE 2022(ドイツ)に出展

5月30日から6月2日までドイツ・ハノーバーで、製造業のための世界最大級の国際展示会が開催され、当社も欧州市場の拡大を目指し、「軽量化」に貢献する締結部品や「コンタミ問題」に対応するねじ製品・ねじ締めロボットなどを展示し、ファスニング・ソリューションを披露しました。



04 水専用流量計「小型アクアメータWE」を新発売

小型アクアメータWEは、低価格かつコンパクトな水専用の流量計です。計測原理は実績のあるロータリピストン方式を採用し、ロータ材質を耐摩耗性に優れた特殊PPSとしたほか、接続口に簡易ストレーナを搭載することで、より信頼性が高い流量計測を可能にしております。これまでになかった小型で低価格な水専用流量計をラインナップに加えることで、お客様のニーズによりきめ細かく対応してまいります。



01 … 陸の豊かさを守る



モデルフォレスト活動

当社が本社を置く、京都府綾部市の森林保全のためのモデルフォレスト活動に参加しました。コロナ禍で中止が続き4年ぶりの活動となり、笹や下草が生い茂った現状を目の当たりにし、改めて森林保全の大切さや手入れの重要性を実感しました。今後も、森林の恩恵を受ける地域社会の一員としての責任を果たしてまいります。



02 … 質の高い教育をみんなに



次世代若手技術者の養成

当社は、理系の大学生を対象に無利子で学費を貸与する制度を設けておりますが、新たに「日東精工次世代若手技術者養成プログラム」をスタートさせました。高校卒業の新入社員から選抜した1名に対し、給与の補償・学費全額免除で「京都職業能力開発短期大学校」に2年間通学していただく制度です。今後も地元地域の次世代育成に貢献してまいります。

03 … 健康と福祉を



「スポーツエールカンパニー」に認定

当社は、健康を増進し、よい人づくりを行うことを社是にうたい、健康で働きやすい職場環境づくりに努めております。中期経営計画の戦略テーマに「健康経営」の概念を盛り込み、社員のQOL（生活の質）向上に取り組んだ結果、当社の子会社である日東公進株式会社とともに、スポーツ庁の認定制度である「スポーツエールカンパニー2022」の認定を受けました。



04 … 働きがいも経済成長も



「健康経営銘柄」「なでしこ銘柄」にダブル認定

当社は、創業以来「事業活動の原動力は人財」という考えのもと、生活習慣病対策、メンタルヘルス、ワークライフバランスの3つの領域を重要課題として、社員のQOL（生活の質）向上に取り組んだ結果、昨年に引き続き「健康経営銘柄2022」の認定を受けました。

また、女性従業員のキャリア継続支援や男性の育児休業の取得率の向上など、女性活躍の推進への取り組みが評価され、「なでしこ銘柄」に選定されるに至りました。



会社概要

CORPORATE PROFILE

(2022年6月30日現在)

会社概要

社 名 日東精工株式会社 (NITTOSEIKO CO., LTD.)
本 社 所 在 地 京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20番地
設 立 年 月 日 1938年2月25日
資 本 金 3,522,580,100円
従 業 員 数 532名
主 な 事 業 内 容 各種工業用ファスナーの製造販売
各種自動組立機の製造販売
各種流量計および検査装置の製造販売
各種医療機器の製造販売

国内の事業所

本 社 京都府綾部市井倉町梅ヶ畑20 電話 (0773) 42-3111
東 京 支 店 神奈川県横浜市港北区綱島東6-2-21 電話 (045) 545-3313
大 阪 支 店 大阪府東大阪市本庄西1-6-4 電話 (06) 6745-8357
名 古 屋 支 店 愛知県名古屋市中東区上社5-405 電話 (052) 709-5061
北 関 東 営 業 所 群馬県邑楽郡大泉町吉田1221-3 電話 (0276) 63-8158
広 島 営 業 所 広島県広島市東区光町1-12-20 2階 電話 (082) 207-0622
九 州 出 張 所 福岡県福岡市博多区半道橋1-6-46 電話 (092) 411-1724

取締役、監査役および執行役員

代表取締役社長 社長執行役員	材 木 正 己	監査役(常勤)	北 谷 明
代表取締役 専務執行役員	荒 賀 誠	監査役(社外)	溝 口 克 彦
取 締 役 員	上 嶋 伸 宏	監査役(社外)	多賀野 博 一
取 締 役 員	山 添 重 博	執行役員	石 原 雅 和
取 締 役 員	松 本 真 一	執行役員	小 雲 康 弘
取 締 役 員	浅 井 基 樹	執行役員	桐 村 和 也
取締役(社外)	塩 見 満		
取締役(社外)	平 尾 一 之		
取締役(社外)	勝 見 九 重		

株式の状況

STOCK INFORMATION

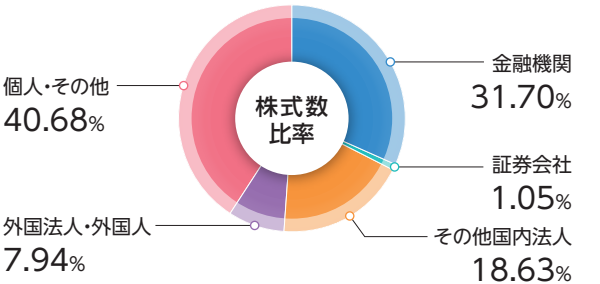
(2022年6月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	98,800,000株	
発行済株式の総数	39,985,017株	
株主数	6,018名	
大株主		
株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	3,617(千株)	9.72(%)
日東精工協友会	3,301	8.87
株式会社京都銀行	1,855	4.98
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,537	4.13
神鋼商事株式会社	1,499	4.03
三井住友信託銀行株式会社	1,350	3.63
株式会社三菱UFJ銀行	1,347	3.62
グンゼ株式会社	1,084	2.91
日東精工従業員持株会	814	2.18
日本生命保険相互会社	619	1.66

(注) 1. 持株数の千株未満は切り捨てております。
2. 自己株式2,803千株を除いて計算しております。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月下旬

基準日 定時株主総会・期末配当 毎年12月31日
中間配当 毎年6月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
受付時間 9:00～17:00 (土日休日除く)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国各
支店で行っております。

公告方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子
公告による公告をすることができない場合は、日本
経済新聞に掲載いたします。
公告掲載URL (<https://www.nittoseiko.co.jp/>)

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ホームページのご案内

当社では、ホームページにて企業情報を随時
開示しております。製品情報、新着情報等の
ほか、IR情報ページでは、決算短信等を掲載
しております。
また、サステナビリティページでは統合レ
ポートも掲載しております。

<https://www.nittoseiko.co.jp/>



トップページ



IR情報ページ



サステナビリティページ



統合レポート